

北区上十条一丁目西地区  
路地園芸トライアル  
報告書

平成18年5月

全国路地のまち連絡協議会



# も く じ

## 調査の目的・方法

1 トライアルの目的	1
2 対象地区	1
3 トライアルの方法	4

## 路地園芸トライアルの内容

第1回ワークショップ	5
講演「江戸の園芸を知る」	
配付資料1	3 2
配付資料2	3 9
第2回ワークショップ	4 1
「上十条一丁目西町会路地園芸探検と路地園芸ワークショップ」	
第2回ワークショップのまとめ	5 6
配付資料1	6 0
配付資料2	6 3
第3回ワークショップ	6 4
「路地園芸実践トライアルワークショップ」	

## 路地園芸トライアルのまとめ

1 トライアルの従前従後	8 5
2 路地園芸トライアルのまとめ	9 0
3 終わりに	9 1

## 資料編

第1回ワークショップ案内	9 3
配付資料3	9 4
配付資料4	1 0 0
第2回ワークショップ案内	1 0 5
第2回ワークショップ 路地園芸探検ルート図	1 0 6
第3回ワークショップ案内	1 0 7



# I 調査の目的・方法



## 1 トライアルの目的

路地（街なかの昔からの狭い道）のある街の多くは、安心して暮せるコミュニティが育っている。商店街では、狭い道に並ぶ店が賑わいある界隈を生み出し、住宅地においては子供の安全な遊び場であり、住民たちの井戸端会議の場であり、暮らしの場の延長である。

その街で生活する人々の息づかいが聞こえてくるような路地は、日本の都市の原風景のひとつであり、その路地の鉢植えや見越しの松などは、路地の景観構成要素として大きな役割を果たしていると考えられる。また、都市の環境要素としても大きな役割を果たしていると考えられる。

江戸時代には、庶民の中に園芸文化が根付き、庶民の中から新品種を生み出すなど文化的にも高い水準にあったといわれている。

私たちは、この江戸園芸文化を踏まえて、路地の園芸を推進するとともにその技術を高めることによって、都市の原風景の一つである路地景観の向上をめざすとともに、路地発信の文化を育成していきたいと考えた。

本トライアルは、「東京都北区上十条一丁目西町会」及び「十條あすみの会」の協力のもと、北区環境課及び（財）北区まちづくり公社の後援を得て行った。主催は「東京都北区上十条一丁目西町会」と「十條あすみの会」及び「全国路地のまち連絡協議会」の共催とした。

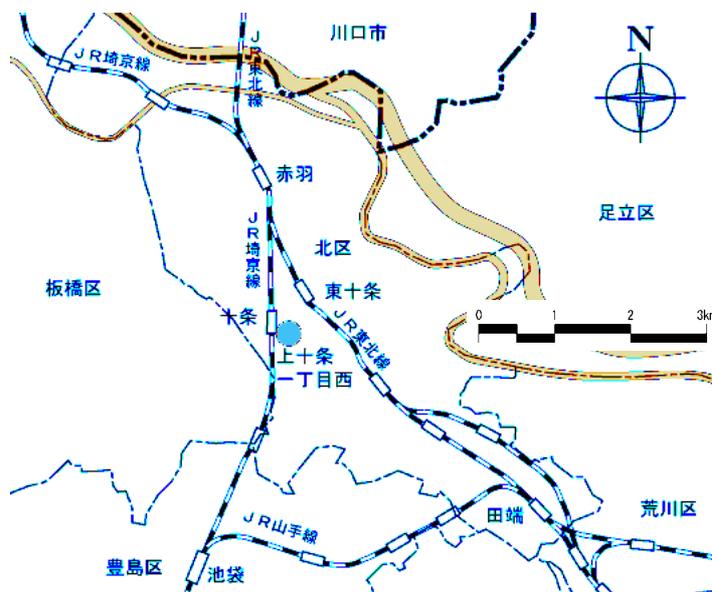


## 2 対象地区

本トライアルは、「東京都北区上十条一丁目西町会」会員及び「十條あすみの会」会員を中心として行った。対象地区は「東京都北区上十条一丁目西町会」全域とし、実践トライアルは対象地区内の路地とした。

### 1) 十条地区の位置

対象地区が含まれる東京都北区十条地区は、東京区部の北部に位置し、JR埼京線十条駅を中心とした地域である。十条地区は、JR埼京線十条駅から池袋に2駅7分、新宿に11分、渋谷に17分となっている。また、隣接するJR京浜東北線東十条駅からは東京駅に23分と都心部に非常に近接した地区である。



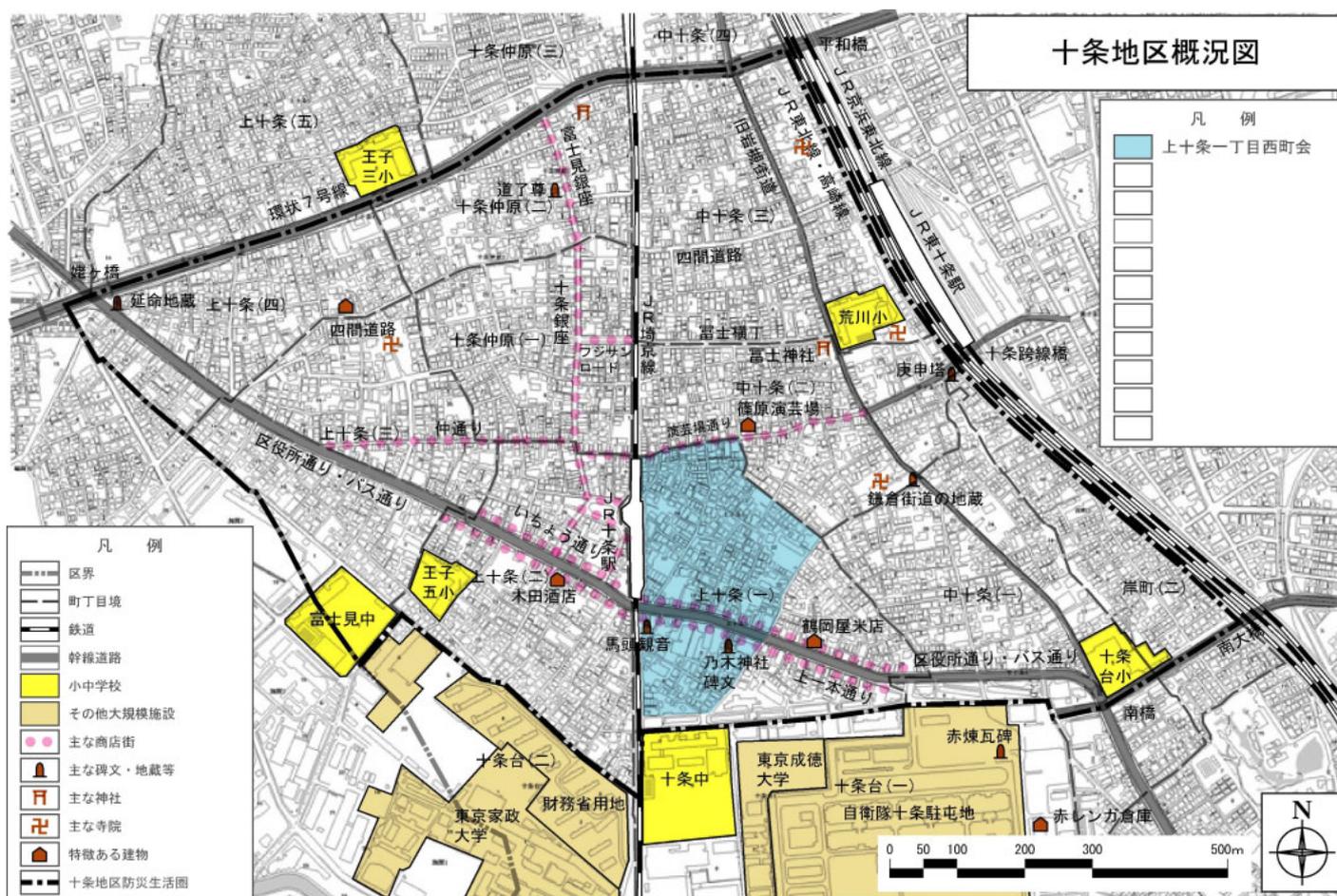
## 2) 十条地区の概況

十条地区は、東京の環七沿いに広がるいわゆる「木造密集市街地」の一つであり、4m未満の狭隘道路を主体とした脆弱な都市基盤の上に、木造住宅が密集している地区となっている。このため、十条地区では、十条地区95ha(下図参照)において都の防災都市づくり推進計画(旧防災生活圏促進事業)が進められているとともに、密集事業(住宅市街地総合整備事業：上十条三・四丁目地区、上十条一丁目・中十条一～三丁目地区)などの密集市街地を改善する事業が展開されている。

また、十条地区の南側及び東側JR東北線沿いは崖地となっており、十条地区そのものは台地上に位置している。特に、南側崖沿いの地区は、旧陸軍に利用された大規模用地であり、現在は学校や公園、財務省用地、自衛隊十条駐屯地等が立地しており、これら一帯が都指定の避難場所となっている。

十条地区には、その周辺も含めて大規模な商業施設の立地がなく、十条駅を中心としていわゆる近隣型の商店街が縦横に発達し、賑わいのある商店街となっている。

なお、地区の東側に隣接する東十条地区は、JR東北線と崖により分断され十条地区とは別の生活圏となっている。



## 3) 上十条一丁目西地区

今回のトライアルの対象地区である「上十条一丁目西町会」は、JR 埼京線十条駅の東側に隣接する町会である。また、まちづくりに対する意識と理解の高い町会である。

これまでに、防災マップの作成、広場等整備のワークショップ、防災広場やまちづくり用地の自主管理、商店街道路のプランター花植えなどを行っている。また、この町会を母体として、地域が安心して住めるようにと、防災・防犯ボランティア団体「十條あすみの会」を結成し、会員は周辺の町会に広が

っている。この地区では、上十条一丁目西町会と上十条一丁目本通り商店街及び十條あすみの会が密接に連携してまちづくりを進めているとともに、十條地域のまちづくりイベント「十條遊縁市」の運営の中心的な役割を果たしている。

上十条一丁目西町会およびトライアル対象路地等の範囲・位置関係は下図の通りである。



### 3 トライアルの方法

本トライアルは3回のワークショップで構成した。

#### 1) 第1回ワークショップ

江戸における庶民の園芸文化について、賀来宏和氏（都市環境プロデューサー：(株) グリーンダイナミクス代表取締役）を講師に迎えて「江戸の園芸を知る」と題して講演を行った。

この目的は、一般市民の活動を高めることによって世界に誇れる文化になることを認識してもらうとともに、まちの視点で園芸などを考えてもらうきっかけづくりにおいた。また、質疑応答において、知っていたつもり園芸手法等の再認識を促し、当ワークショップへの興味を増すことを図った。

#### 2) 第2回ワークショップ

上十条一丁目西地区内を「路地園芸探検」と題して歩き、地区内の園芸の状況を視察した後、トライアル対象路地を視察し、実際の園芸方策について、参加者により議論した。

路地園芸探検においては、近所の園芸を知ることにより、単独で行っている園芸をネットワークする機会の提供を図った。これにより、住民相互の園芸に関する情報交換を促し、園芸技術の向上につなげていく。

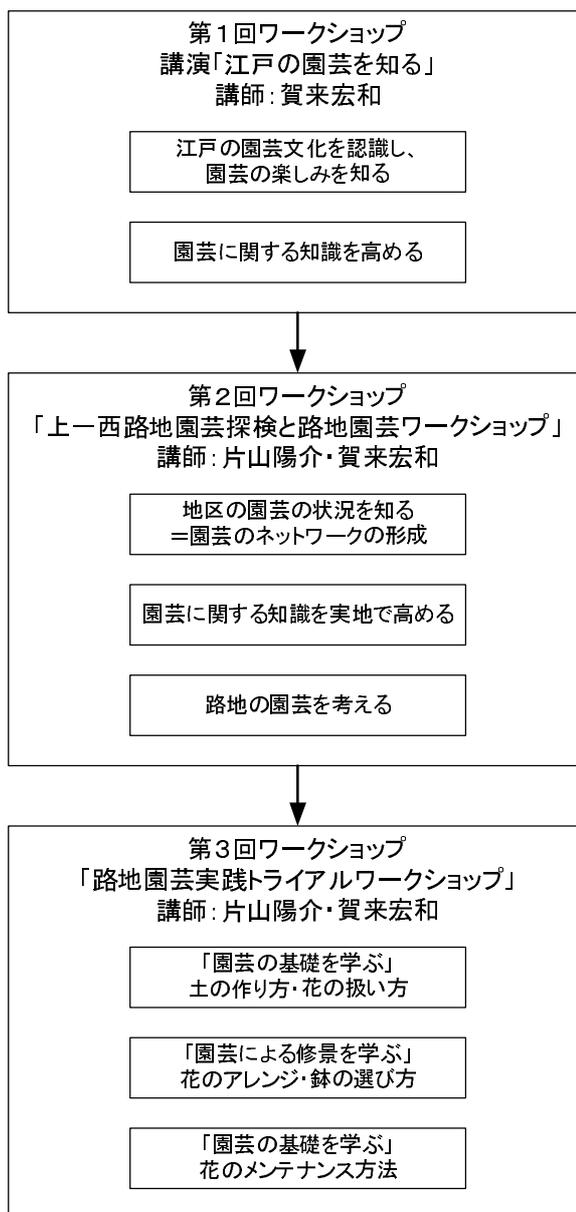
また、トライアル対象路地についての修景方策について、講師を交えながら住民同士で意見交換しながら試行錯誤を行った。

#### 3) 第3回ワークショップ

第2回に検討した修景方法を実践した。

最初に、今回選んだ花の特徴や取扱について講師より学び、講師の植え方の見本を参考に、住民自身により実際に植え付けや鉢植えの修景等を行った。

最後に、住民の園芸作業について講師より問題点等の指摘を行い、今後のメンテナンス方法について意見交換を行った。



実施フロー